

令和3年度

事業報告書

社会福祉法人川越市社会福祉協議会

令和3年度事業報告書目次

1	地域福祉のきっかけづくり・・・・・・・・・・・・・・・・	1
	(1) 「おたがいさま」の心を育む	
	(2) 交流の機会を増やす	
2	支え合いの縁（円）づくり・・・・・・・・・・・・・・・・	5
	(1) 担い手を支援する	
	(2) 寄り添い支え合う取組を支援する	
	(3) 分野を超えて協力する	
3	不安の少ない暮らしづくり・・・・・・・・・・・・・・・・	20
	(1) 安心して暮らし続けられるようにする	
	(2) もしものときに備える	
4	地域福祉を推進するための社協基盤の強化・・・・・・・・	35
	(1) 職員力の向上	
	(2) 広報活動の強化	
	(3) 財源の確保	
	(4) 事業運営体制の強化	
5	その他・・・・・・・・・・・・・・・・	43
	(1) 実施事業	
	(2) 福祉団体事務局	

【表記説明】

- (1) 「コ縮小」・・・新型コロナウイルスの影響で縮小した事業
- (2) 「コ中止」・・・新型コロナウイルスの影響で中止した事業

令和3年度事業報告書

1 地域福祉のきっかけづくり

地域福祉の推進には、地域の人々の理解と協力が必要です。地域福祉に触れるきっかけとして、福祉関連情報の発信、福祉教育・体験、イベントの開催などを行い、地域で協力し合える関係を築きます。

(1) 「おたがいさま」の心を育む

(総務課、地域福祉課、生活支援課、権利擁護センター、総合福祉センター)

① 福祉に関する情報提供

ア 地域福祉への理解を深めるための情報提供

第五次川越市地域福祉活動計画の周知

本会ホームページに掲載するとともに地区社協の会議等で活動計画の説明を行った。また、市内福祉施設に計画書を配布し、6年間の取り組みについて周知を図った。

イ ホームページ等による福祉情報の提供

(ア) 社会福祉協議会ホームページ

福祉情報の提供や活動の報告を行っている。また、各課の職員で、ホームページのお知らせ機能を活用して、周知すべき情報について発信を行った。

・アクセス数（ページビュー数）：142,834件

(イ) 総合福祉センターホームページ

内容を随時更新し、総合福祉センターの事業に関する情報を発信した。

・アクセス数：27,218件

(ウ) SNS

地域に関する情報、ボランティアの活動、イベントや助成金に関する情報などの周知のため、ホームページ、Facebook、twitter等のSNSに記事を掲載した。

また、今年度はLINEのアカウントを作成し、運用を開始した。

② 福祉教育の推進

ア 福祉を体験できる場の提供

(ア) ボランティア体験学習「ワークキャンプ」の実施（中止）

ボランティア活動の実践やグループ討議を通じて、体験的に福祉を学び、地域への福祉活動や災害支援に関心を持ち、人への思いやり、助け合いの心を育むためワークキャンプを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の影響で中止した。

- ・想定：平成23年3月11日に発生した東日本大震災で被災した福島県いわき市での被災地支援活動（農業支援）

(イ) ボランティア体験学習への協力

地域や小中学校におけるボランティア体験学習へ福祉機器の貸出しを行った。

機器等名称	保有数	件数	機器等名称	保有数	件数
アイマスク	77	1	高齢者疑似体験セット	15	6
白杖	28	16	福祉ビデオDVD	15	14
点字器	76	5	車椅子	18	15
合 計					44

イ 交流事業等の開催支援

(ア) 世代間交流事業等地域活動への支援

地区社協で行う世代間交流事業へ支援を行った。また、社協だよりに事業の紹介を行った。

(イ) 福祉協力員等事業の実施

地区社協で行う福祉協力員等事業に対して、内容の検討、講師の調整、職員による講義等地域住民のニーズに即した支援を行った。

(ウ) 地域活動参加・啓発の協力

- ・地区社協に対しては、開催する事業への参加、事業内容の検討及び研修等の支援を行い、実施事業について社協だよりに紹介するなど協力をした。（22地区社協）
- ・地区民児協に対しては、定例会への参加、研修等の支援及び民生委員活動についての啓発に協力した。（22地区民児協）

③ 社会貢献活動等の促進

ア ボランティア活動における学校との連携

学生のボランティア活動について市内の高校と連携し、ボランティア情報の周知、活動依頼の調整を行った。

- ・学校数 4校
- ・活動者数 延 208人

イ 企業等からの物品寄付の受付、相談

企業等からの食料品や日用品等の物品寄付の相談、受付、寄付物品の活用先等を調整した。

- ・受付件数 59件

ウ 赤い羽根共同募金

企業における社会貢献活動等が活発となるように共同募金活動の協力の周知を行った。(636社)

(2) 交流の機会を増やす

(地域福祉課、生活支援課)

① 交流を生み出す催しの推進

ア 第30回(令和3年度)ふれあい福祉まつりの開催(コ中止)

令和3年5月に開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

イ 障害者スポーツ大会の開催支援(コ中止)

令和3年10月に開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

ウ 福祉の市の開催(コ中止)

令和3年11月に開催を検討していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

エ 子育てサロンまつりの開催(コ中止)

川越市民生委員児童委員協議会連合会主任児童委員部会と共催で行う子育てサロンまつり開催に向け検討を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

なお、開催の代替えとして、主任児童委員活動の周知・啓発リーフレットを作成し、各地区のサロン等で配布した。

オ 在宅障害児招待事業の実施(コ中止)

在宅障害児の世帯を対象に、家族間の交流を深めていただくため芋ほり事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

カ スタンプラリー事業「地域まる Goto ふれあいキャンペーン！」の実施

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった共同募金配分金事業の予算を活用し、市内の障害者施設や企業等の協力のもと、スタンプラリーを実施した。

- ・実施期間 令和3年12月1日から令和4年1月16日まで
- ・参加申込者 224人

キ 親子リフレッシュ事業及び地域ふれあい事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった共同募金配分金事業の予算を活用し、市内の子ども食堂等運営団体の支援対象世帯や埼玉育児院の入所児童及び活動支援住民を対象に魚釣り体験を実施し、親子の絆や地域交流を深めた。

- ・実施日 令和4年3月26日（土）、30日（水）
- ・実施場所 川越水上公園
- ・参加人数 194人（内訳 26日118人・30日76人）

ク 世代間交流事業の促進

地域住民の希薄になりがちな人間関係に対し、各世代がお互いにふれあうことで理解と思いやりの心を醸成し、住みよい福祉のまちづくりを目的とした活動に助成し、世代間交流を促進した。

- ・実施 3地区社協（補助金：1地区50,000円／年間）

地区社協	開催日	内 容（ ）は開催場所	参加者
第5地区	3月13日	グランドゴルフ大会（コ中止）	-
第7地区	10月3日 12月12日 毎月	芋掘り（山田園） 清掃（仙波町全域公園） パトロール（仙波町全域）	延べ236人
第9地区	8月 10月	納涼盆踊り（コ中止） お祭り（コ中止）	- -
芳野地区	8月1日	清掃（中老袋自治会館）	延べ26人
大東地区	11月3日	芋掘り大会（荒畑農園）	延べ716人

ケ 川越市社会福祉大会の実施（コ縮小）

社会福祉関係者等の長年にわたる活動に対して、表彰及び感謝の意を表すとともに地域福祉の強化や市民参加によるボランティア活動の推進を図った。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、運営委員会の決定で、式典を開催せず、受賞者に賞状及び記念品を郵送した。

- ・テーマ：「人と人とのつながりを深め だれもが自分らしく いきいきと暮らせるまち 川越」
- ・スローガン：「つながりを 地域に広げる 笑顔の輪」
：「声かける そこから始まる ボランティア」
- ・大会会長表彰 102人、11団体
- ・大会会長感謝 46人、14団体
- ・共同募金会支会長感謝 1団体

② 地域交流の充実

ア 子ども居場所づくりの支援

市内の子どもの居場所づくり活動団体及び今後活動予定のある団体及び個人を対象に、これからの活動に向けた情報交換を図るネットワーク構築のため交流会を開催した。

- ・実施日 令和4年3月7日（月）
- ・実施場所 ウェスタ川越 活動室1
- ・参加者 37人

イ 在宅介護者リフレッシュ事業の実施支援

在宅介護者を対象に季節のおたよりを発送するほか、介護情報の提供、体操教室の開催やリフレッシュグッズの配布などをおして、介護者が孤立しないよう支援した。

ウ 総合福祉センター団体交流室の利用状況

- ・延べ利用団体数 69 団体
- ・延べ利用者数：489 人（男 177 人・女 312 人）

2 支え合いの縁（円）づくり

日常生活における助けてほしいこと、助けられることを身近で支えられるような関係づくりに取り組みます。また、各種相談窓口やキーパーソンが中心となって分野や制度を超えたつながりを増やし、大きな縁（円）の構築を図ります。

(1) 担い手を支援する

（地域福祉課、生活支援課）

① キーパーソンの育成・支援

ア 地域づくり推進ネットワーク会議

地域で活動を展開している住民や活動を始めようと考えている方々等を対象にこれからの活動に向けた情報交換を図るネットワークの構築等を目指すための会議を開催した。

- ・実施日 令和3年12月24日（金）
- ・実施場所 ウェスタ川越
- ・参加人数 （活動者）107人

イ 福祉協力員等の支援

地域福祉の更なる充実を図るため、地区社協が福祉協力員及びボランティアの育成を行うとともに、福祉協力員を登録し、日常的な見守り活動と地域福祉支援体制づくりを推進していく活動等に支援し助成した。

・実施地区社協

(補助金：1会場につき15,000円、活動事務費として年5,000円)

地区社協	開催日	内 容
第11地区	5月25日 9月29日	映画「given」視聴、講演会 成年後見入門講座、懇談会
南古谷地区	1月7日 2月2日 3月2日	地域の仲間づくりについて（グリーンパークの事例について） 災害時の福祉協力員の役割について（コ中止） マイ・タイムラインの作成について（コ中止）
大東地区	通年	自治会内で見守り活動及び安否確認の推進
名細地区	11月11日 2月5日	認知症に関する地域支援について 福祉協力員としての役割と心構えについて 講座（コ中止）
山田地区	11月16日	ボランティア講座
川鶴地区	9月14日	「身を守る防災知識とボランティア」

・福祉協力員数：387人

ウ ボランティアリーダーの養成

(ア) ボランティアアドバイザー定期例会

各ボランティアビューローのボランティア情報の共有や相談業務の課題について意見交換を行った。

・開催日：毎月最終月曜日

(イ) ボランティアアドバイザー現任研修

- ・第14回全国校区・小地域福祉活動サミット in 北海道
- ・開催日 令和3年10月22日～23日
- ・参加人数 10名

② ボランティア活動の支援

ア ボランティア養成講座の充実

ボランティア活動を始めるきっかけ作りと地域で活躍できるボランティアを発掘、育成することを目的として各種講座を開催した。

講座名	開催期間	回数	参加人数	延べ人数
聴覚障害者支援ボランティア養成講座（コ中止）	-	-	-	-
傾聴ボランティアフォローアップ講座	令和3年10月5日～ 11月2日	5	20	81

点字ボランティア養成講座（コ縮小）	令和3年4月13日～ 6月22日	4	6	24
オンライン入門講座	令和4年1月22日	1	25	25
ボランティア入門講座	令和4年3月24日	1	10	10

イ ボランティア体験プログラム等の実施

(ア) ボランティア体験プログラム

～自宅で！オンラインで！地域と繋がる！～

学生の福祉への関心を高めることを目的に、自宅での制作活動や自宅周辺で清掃活動等のボランティア活動を実施した。制作物は社協を通じて参加施設に届け、参加施設からの活動者へのメッセージを社協ホームページに掲載した。

- ・期間：令和3年7月20日～9月30日 73日間
- ・対象：市内在住、在学の小学校4年生以上の学生
- ・参加者数：延べ 270人、実人数 93人
- ・プログラム数：34施設 49メニュー

(イ) 車椅子でお買い物体験（コ中止）

(ウ) ボッチャ親子交流体験（コ中止）

(エ) ワークキャンプの実施（コ中止）

(オ) 子ども食堂での地域の方との交流体験

市内子ども食堂で市内在学の高校生が運営補助を通して、地域の方との交流を行った。

- ・実施日 令和3年10月31日（日）
- ・実施場所 川越市伊勢原公民館、いなげや川越伊勢原店
- ・参加人数 10人

ウ 福祉教育指導者との連携

(ア) 市内小中学校への福祉体験スクールへの協力

車いすの介助や盲人ガイド、手話、点字等の実技及び福祉講話を通じて、障害者や高齢者への理解を深め、地域福祉の担い手となる次世代へ社会福祉意識の高揚を図った。

㊦ 福祉体験実技への講師の派遣

- ・小学校 12回 1,394人

㊧ 福祉講話への講師の派遣

- ・小学校 16回 1,400人
- ・中学校 1回 160人

(イ) 認知症サポーター養成講座

認知症高齢者やその家族を支援する者の養成を目的に、市内小中学校と高等学校を対象に認知症に対する正しい知識の普及、啓発を行った。

- ・小学校 4校 348人

- ・高等学校 1校 13人

エ 介護支援いきいきポイント事業の実施

川越市内在住の65歳以上の高齢者の方が、自身の介護予防を目的に高齢者介護施設等において利用者への支援活動（ボランティア活動）を実施した場合にポイントを付与し、活動の奨励金若しくは川越市の特産品と交換できる事業を実施した。

- ・対象者向け登録者研修会 (単位：人)

開催日	場所	参加者	登録者	新規保険加入者数
4月～3月	社協窓口	20	19	10
合計		20	19	10
登録者累計			523	

- ・受入機関 (単位：事業所)

	3年度	累計
新規登録事業所数	2	118
実受入事業所数	11	

- ・活動内容 (単位：人)

① レクリエーション等の指導、参加支援	137
② 施設の催事に関する手伝い（模擬店、会場設営、利用者の移動補助、芸能披露等）	11
③ 散歩、外出、屋内移動の補助	0
④ 話し相手、傾聴、朗読	117
⑤ お茶出し、食堂内での配膳・下膳等軽微な業務の補助	119
⑥ 施設職員とともに行う軽微かつ補助的な作業（清掃・草刈の補助、洗濯物の整理等）	568
⑦ オレンジカフェに係る傾聴、配膳、レクリエーション指導等の補助	12
合計	964

オ オンラインツールを用いたボランティア活動

オンライン会議ツール Zoom を用いて、市内福祉施設と繋がり、演芸などのボランティア活動を行った。

- ・実施件数：5件

カ 安心してボランティアができる環境づくり

ボランティアセンター、ボランティアビューローの充実

- ・ボランティアアドバイザーの配置（コ縮小）

名 称	人 数	勤務日	時間	勤務 形態	開設 日数
ボランティア室	6	火・水・金・土	10時 ～ 15時	2人制 交代 勤務	164日
ビューロー西	5	水・土			80日
ビューロー南	5				81日
ビューロー保健センター	5	水・金			80日

※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、休室及び縮小し開室した。

キ ボランティア登録の促進

(ア) ボランティア相談、登録、調整等の推進

- ・ボランティア登録者

種別	登録数	前年比
グループ（会員数）	146 団体（2,611 人）	△36 団体（△746 人）
個人	213 人	△110 人

- ・活動希望者の相談業務の実施

区分	ビューロー ボランティア室	ビューロー ー西	ビューロー ー南	保健 センター	合 計
活動相談（件）	225	50	40	46	361
派遣相談（件）	328	144	24	96	592
派遣状況（人）	670	1,516	54	20	2,260

(イ) 学習会、研修会の開催

- ㊦ ボランティアビューロー視察研修の実施（コ中止）
- ㊧ 各ボランティアビューロー登録ボランティア学習会及び交流会の開催（コ中止）

(ウ) その他環境の整備

- ㊦ 登録ボランティアグループ活動費の助成

- ・助成グループ数：16 グループ
- ・助成金額：240,560 円

※算出方法（@380 円×会員数）+ 10,000 円／グループ

- ㊧ ボランティア活動保険の加入促進

ボランティア活動中の事故に備え、保険への加入促進を行った。

- ・加入者数：2,892 人
- ・保険の申請件数：3 件

㊦ ボランティア行事用保険の加入促進

ボランティア団体等の主催の行事中の事故に備えた保険の加入促進を行った。

- ・加入件数：117件
- ・事故報告件数：1件

(2) 寄り添い支え合う取組を支援する

(地域福祉課、生活支援課)

① 生活支援体制整備推進事業について

市から生活支援体制整備推進事業の委託を受け、第1層（市全体）を対象として、地域における支え合いの体制づくりを推進することを目的に活動する第1層生活支援コーディネーターを配置し、第1層協議体「地域支え合い会議・川越」で今後の事業展開等の話し合いを行った。

また、自治会連合会支会単位に第2層生活支援コーディネーターを配置し、生活支援や介護予防の取り組みなど、住民主体の支え合い・助け合い活動の充実を図るための話し合いの場（協議体）の設置支援に努めるとともに、いきいきサロン、自主サークル活動、介護予防体操等を実施している場所へ出向きニーズ調査等を行った。

- ・第2層における住民主体の活動への支援

内 容	件数
地区社会福祉協議会会議及び事業等への参加	126回
各地区民生委員・児童委員協議会定例会等への参加	255回
地域包括支援センター関係の会議等への参加	38回
その他打ち合わせ等	63回

② 地域コミュニティの活性化

ア 地区別福祉懇談会の開催及び支援

地区社協で開催した地区別福祉懇談会及び他市団体との情報交換会において、地区内の支え合い、たすけあい活動の内容や体制、担い手育成等の状況などについての話し合い及び地区別福祉プランの進行管理、次年度以降の事業計画の作成等を支援した。

- ・地区別福祉懇談会及び情報交換会等開催状況

地区	開催日	会場	人数
第 5 地区	8月27日	小仙波町自治会集会所 (コ中止)	-
第 6 地区	12月21日	脇田町会館	30
第 11 地区	2月23日	新宿町五丁目自治会集会所	36
芳野地区	7月16日	芳野公民館	32
南古谷地区	12月15日	東部地域ふれあいセンター	49

高 階 地 区	7 月 28 日	寺尾自治会館	24
	2 月 19 日	藤間文化会館	19
大 東 地 区	12 月	大東市民センター（コ中止）	-
	2 月 14 日	大東市民センター（コ中止）	-
名 細 地 区	2 月 5 日	名細市民センター（コ中止）	-
合 計	5 地区、6 回	6 か所	190

イ プラン事業の促進

地区社協が作成した地区別福祉プランに基づき、自主的に取り組む地域福祉活動を支援し、活動の定着化を図ることを目的としたプラン事業を促進した。

- ・ 第 1 地区社協プラン事業
いもっこ体操教室（各自治会館）
毎月 1 回実施 参加者：延べ 600 人
- ・ 第 2 地区社協プラン事業
いもっこ体操・介護予防教室（石原町公民館、六塚会館、仲町自治会館、幸町自治会館）
毎月 1 回実施 参加者：延べ 70 人
- ・ 第 4 地区社協プラン事業
いきいき体操・絵手紙教室（大手町自治会館、三久保町自治会館、松江一丁目自治会館、松江町二丁目自治会館、元町一丁目自治会館、伊佐沼新町自治会館）
参加者：延べ 80 人
- ・ 第 5 地区社協プラン事業
いもっこ体操、体力測定
（小仙波町自治会集会所、西小仙波町一丁目自治会館）
年 4 回 参加者：延べ 101 人
- ・ 第 6 地区社協プラン事業
いもっこ体操、介護予防教室、防犯教室
（脇田町会館、クラッセ、蔵里）
参加者：372 人
- ・ 第 7 地区社協プラン事業
いもっこ体操、リズム体操等（各自治会館）
参加者：100 人
- ・ 第 8 地区社協プラン事業
いもっこ体操（岸町一丁目自治会館、岸町三丁目自治会館）
参加者：70 人

- ・第9地区社協プラン事業
いもっこ体操（旭町1丁目自治会集会所）
月4回 参加者：延べ357人
- ・第10地区社協プラン事業
友愛訪問事業のサポートとして見守り活動等を実施
参加者：延べ100人
- ・第11地区社協プラン事業
いもっこ体操、健康講座（各自治会館）
月1～2回 参加者：2,165人
- ・芳野地区社協プラン事業
いもっこ体操（谷中集落センター、石田本郷集会場、西門集会場、
鴨田中内路集会場、山田集会所）
月1～2回 参加者：延べ695人
- ・南古谷地区社協プラン事業
いきいきサロン（各自治会館）
月1回 参加者：延べ1,427人
- ・名細地区社協プラン事業
ふれあいサロン、いもっこ体操
（住友あおい自治会館、天金山自治会館、下広谷北自治会館）
参加者：延べ1,171人

ウ 一人暮らし高齢者集い事業の促進

地域において、温かな人間関係とともに生きるコミュニティづくりを促進するため、高齢単身者と地区社協、自治会、民生委員児童委員、ボランティア等がふれあう事業に対し、活動の支援と助成を行った。

- ・実施13の地区社協（補助金：一人につき1,000円）

地区社協	開催日	参加者 (人)	地区社協	開催日	参加者 (人)
第2地区	11月17日	11	芳野地区	3月2日	21
第3地区	11月13日	17	南古谷地区	12月10日	18
第4地区	11月28日	48	高階地区 (五つ又)	12月19日 ～26日	111
第5地区	11月13日	(中止)	高階地区 (藤間原)	2月10日 ～28日	199
第7地区	12月4日	130	高階地区 (砂弁天)	2月11日	21
第8地区	2月22日	(中止)	福原地区	3月2日	(中止)
第9地区	11月9日 ～30日	280	名細地区	12月12日 12月19日	40

第 10 地区	11 月 10 日 11 月 19 日 11 月 21 日 11 月 23 日 ～ 25 日 11 月 25 日 12 月 2 日 ～ 中旬 12 月 7 日 12 月 8 日	442	川鶴地区	12 月 12 日 1 月 12 日 1 月 15 日 3 月 16 日	144
第 11 地区	2 月 3 日 17 日 24 日 3 月 3 日 17 日	180			

エ 地域福祉活動の支援

地域組織との共同を推進するとともに、地域における福祉活動の解決に寄与することを目的として、地域福祉活動を実践又は実施しようとしている個人・団体に対して、新たに本会の事業として補助金を交付した。

- ・ 交付団体：17 団体
- ・ 総交付額：843,581 円

オ シニア e スポーツ普及事業の実施

(ア) 第 11 地区社協

第 11 地区社協の協力のもと、シニア層の認知症及びフレイル予防と多世代交流の場の活性化のため、脳トレゲーム体験講座を開催した。

- ・ 開催日 令和 4 年 2 月 3 日（木）・17 日（木）・24 日（木）、
3 月 3 日（木）・17 日（木）
- ・ 開催場所 新宿町 5 丁目自治会集会所

(イ) コミュニティサロンかすみ草

サロン参加者を対象に脳トレゲーム体験会を実施した。

- ・ 開催日 令和 4 年 3 月 24 日（木）

(ウ) 地域包括支援センター

介護予防を行っている地域包括支援センター職員向けに脳トレゲーム体験会を実施した。

- ・ 開催日 令和 4 年 3 月 31 日（木）

③ 地域活動創出の支援

生活支援体制整備推進事業における住民主体の支え合い、助け合い活動として、多世代交流の居場所づくりや生活支援サービスの立ち上げ、活動についての相談に応じた。

・令和3年度立上げ支援を行ったサービスや多世代交流の場

実施団体	内 容	地区	開始日
新宿町5丁目自治会 ごようかい	家事支援に向けた会議に参加	第11	R3.5月～
ろっけん食堂	こども食堂立ち上げ支援	第10	R3.6月～
こども食堂川越エンゼル トランペット	こども食堂運営支援	霞ヶ関北	R3.6月～
みなみふるやえんじえ るず	こども食堂立ち上げ支援	南古谷	R3.7月～
お休み処金子屋	サロン	福原	R3.7月～
川越はあとパントリー	パントリー立ち上げ支援	高階	R3.10月～

④ 見守り活動の推進

ア 友愛訪問事業の促進

地域の中で孤立しがちな高齢者や障害者に対して、ボランティアや近隣住民が訪問活動を行うことにより、温かい人間関係を築き、共に生きるコミュニティづくりをするため援助活動に助成した。

・実施21の地区社協 (補助金：1地区 60,000円/年間)

地区社協	内 容
第1地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ(月1回) 12月⇒障害者に見舞金の配付 1月⇒高齢者に生姜湯の配付
第2地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等(月1回) 10月⇒ウエットシートとマスクの配布 3月⇒エコバックとマスクの配布
第4地区	安否確認を兼ねて、バースデー訪問を実施(月2回) バースデーカードとプレゼントを配布
第5地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ、市や警察等への情報提供(月1回) 年2回粗品を配付
第6地区	安否確認、健康状態の把握、防犯への注意呼びかけ、市や警察等への情報提供(月1回)

第 7 地区	安否確認、健康状態の把握等（月 1～2 回） 年 2 回お茶パックを配布
第 8 地区	12 月⇒タオルを配布 3 月情報交換会を実施
第 9 地区	安否確認、生活相談、防災・防犯への注意呼びかけ（月 2 回） 1 月⇒粗品を配布
第 10 地区	安否確認、健康状態・生活状態の把握、振り込め詐欺や 防災・防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 年末年始にフェイスタオルを配付
第 11 地区	70 歳以上一人暮らし高齢者を対象に訪問し、見守り（月 1 回） 年 1 回、啓発品の配付
芳野地区	75 歳以上の高齢者を対象に訪問し、安否確認（月 1 回） 12 月に生花を配布
古谷地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 12 月に記念品の配付
南古谷地区	安否確認、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月 1 回）
高階地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺や防災・防犯への注意呼びかけ等（月 1 回）
福原地区	65 歳以上の一人暮らし、高齢者夫婦、寝たきり高齢者等を対象に見守り（月 1 回）
大東地区	安否確認、健康状態の把握、生活相談、詐欺や防犯への注意呼びかけ等（月 1 回以上） 不織布マスクと飲料水を配布
霞ヶ関地区	安否確認、健康状態の把握等（月 1 回）
霞ヶ関北地区	70 歳以上一人暮らし高齢者を対象に近況等の確認、詐欺や防犯への注意呼びかけ（月 1 回） 7 月は紅茶と飴を配布 1 月はマスクと除菌シートを配付
名細地区	安否確認、健康状態の把握、振り込め詐欺への注意呼びかけ（月 1 回）
山田地区	一人暮らし高齢者、重度障害者、寝たきり高齢者を対象に安否確認、健康状態の把握等（月 1 回）歳末見舞品を配布

川鶴地区	訪問、電話連絡や手紙による安否確認（月1回） 7月及び8月は、お茶を配布して熱中症予防の呼びかけ 12月は、お菓子を配付 1月は、お茶の配付 5月、10月、1月は、友愛訪問を兼ねた配食を実施
------	---

イ 在宅高齢者等給食サービス事業の充実

一人暮らし高齢者等の健康の保持、安否の確認や交流を行いながら在宅の生活を支える給食サービス事業に対し、活動の支援と助成を行った。

・実施 13の地区社協

地区社協	食数	種別	回数	対象者	給食調製方法	助成額（円）
第1地区	792	配食	48	24	買上げ (社会福祉施設)	293,040
第4地区	107	配食	7	17	買上げ	39,590
第9地区	2,280	配食	13	190	買上げ	843,600
第10地区	1,320	配食	24	55	買上げ (社会福祉施設)	488,400
芳野地区	217	配食	12	20	買上げ (社会福祉施設)	80,290
南古谷地区	495	配食	11	45	買上げ (社会福祉施設)	183,150
高階地区	2,572	配食	12	217	買上げ	925,000
福原地区	600	配食	12	50	買上げ (社会福祉施設)	222,000
大東地区	1,080	配食	24	45	買上げ (社会福祉施設)	399,600
霞ヶ関北地区	142	配食	7	90	買上げ	52,540
名細地区	2,890	配食	12	250	買上げ	999,000
山田地区	180	配食	5	50	買上げ	66,600
川鶴地区	210	配食	3	70	買上げ	77,700
合計	12,885			1,123		4,670,510

ウ 緊急連絡カード事業

近隣助け合い見守り活動の推進事業のひとつとして65歳以上の一人暮らしの方を対象とした緊急対応のシステムづくりの普及に努めた。

・実施 22 の地区社協

(単位：人)

地区社協	対象者	地区社協	対象者	地区社協	対象者
第 1 地区	318	第 2 地区	87	第 3 地区	383
第 4 地区	118	第 5 地区	211	第 6 地区	201
第 7 地区	353	第 8 地区	82	第 9 地区	245
第 10 地区	168	第 11 地区	165	芳野地区	11
古谷地区	112	南古谷地区	169	高階地区	945
福原地区	375	大東地区	475	霞ヶ関地区	335
霞ヶ関北地区	367	名細地区	532	合 計	5,865
山田地区	141	川鶴地区	72		

(3) 分野を超えて協力する

(地域福祉課)

① コミュニティソーシャルワーカー配置事業について

市からコミュニティソーシャルワーカー配置事業の委託を受け、多機関と連携しながら個別支援を行った。

また、今年度から重層的支援体制整備事業が開始され、本会ではアウトリーチ等を通じた継続的支援事業と参加支援事業を担い、重層的支援会議で支援者の支援プラン作成や評価に携わるとともに支援を行った。

② 丸ごと受け止める体制の構築

地域福祉サポートシステムの構築

地域福祉サポートシステム構築に向けて、コミュニティソーシャルワーカーを配置し、地域の福祉活動支援や個別の相談に対応した。

圏 域	対応件数	
	個別支援(件)	地域支援(件)
第 1、第 2、第 4、山田	350	153
第 5、第 6、第 7、第 8	735	245
第 3、第 9、第 10	86	160
芳野、古谷、南古谷	186	116
高階	199	109
第 11、福原	154	309
大東	124	59
霞ヶ関、川鶴	80	41
霞ヶ関北、名細	161	108
その他	31	134
合 計	2106	1434

相談室	対応件数	
	個別支援	地域支援
東部地域ふれあいセンター	0件	0件
	0人	0人
大東市民センター	0件	8件
	0人	8人
西後楽会館	1件	0件
	1人	0人
ジョイフル	4件	0件
	4人	0人
U__PLACE	4件	0件
	6人	0人
西文化会館（メルト）	2件	0件
	2人	0人
合 計	11件	8件
	13人	8人

③ 多職種連携体制の強化

ア 他職種連携の場（ケース会議等）の設定

要援護者が安定した生活を送れるように、必要と思われる他職種（自治会、民生委員、地域包括支援センター、行政等）が連携しながら支援をするため、ケース会議等を行い、要援護者の問題解決に向けた話し合いを行った。

イ 保健・医療・福祉の連携

要援護者に関する対応として必要と思われる保健・医療・福祉の関係機関が、問題解決に向け連携できるよう啓発及び周知を行った。

- ・コミュニティケアネットワークかわごえの活動への参加
第9回医療介護フォーラム 令和4年1月22日（Zoom研修）

ウ 各種関係団体の連携促進

(ア) 各地区社協、民生委員児童委員協議会への支援

地区社協会長連絡会の支援、川越市民児連等各種団体及び関係機関との連携の強化

- ・地区社協会長連絡会の開催

開催日	出席者	内 容
8月 (書面)	22人	協議事項 (1) 会長連絡会役員の選任について ① 会長の選任について

		<p>② 副会長の選任について</p> <p>(2) 各委員の推薦について</p> <p>① 社会福祉法人川越市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会の委員候補者の推薦について</p> <p>② 社会福祉法人川越市社会福祉協議会歳末たすけあい援護金配分委員会の委員候補者の推薦について</p> <p>③ 川越市社会福祉協議会福祉基金運営委員会の委員候補者の推薦について</p> <p>④ 川越市生活支援体制整備推進事業第1層協議体会議の委員候補者の推薦について</p> <p>(3) 地区社協の周知活動について</p> <p>依頼事項</p> <p>地区社協活動促進事業の意見徴収について</p> <p>(1) 地区社協活動促進事業の一部改定案について</p> <p>(2) その他の地区社協活動促進事業の見直しについて</p>
2月 (書面)	22人	<p>協議事項</p> <p>(1) 地区社協の周知活動について</p> <p>(2) 令和4年度地区社協事業について</p> <p>(3) 社会福祉法人川越市社会福祉協議会在宅サービスセンター運営委員会委員の選出について</p> <p>依頼事項</p> <p>(1) 地区社協活動の地区広報誌等への掲載について</p> <p>(2) 令和3年度及び令和4年度地区社会福祉協議会事業の申請及び返金等について</p> <p>(3) コロナ禍における地区社協活動等に係るアンケートの提出について</p> <p>その他</p> <p>(1) 地区社協周知用ポケットティッシュ作成の会計報告について</p> <p>(2) 令和4年度貸切バス借り上げについて</p>

・川越市民児連との協働事業の実施

歳末たすけあい援護事業の実施にあたり、民生委員児童委員の協力を得て要援護者を把握した。

3 不安の少ない暮らしづくり

日常生活で抱えた困りごとの改善・解決につながる環境を整備し、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう取り組みます。また、地震や台風といった災害等の助け合いに必要な平常時からの地域活動を支援します。

(1) 安心して暮らし続けられるようにする

(地域福祉課、生活支援課、権利擁護センター、総合福祉センター)

① 福祉サービスの充実

ア 在宅福祉サービスセンター（かわごえ友愛センター）事業の充実

住民相互の助けあいによる会員制、有償・有料制の家事援助サービスを実施し、在宅で要援護状態にある高齢者や障害者等に対し、協力会員を派遣し、家事援助等の支援を行い、日常生活の向上を図った。

ア) 地区社協等関係団体、機関等との連携

地区社協、民生委員児童委員、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等と連携しながら、かわごえ友愛センター利用希望者の調整を図り、利用会員等の問題解決にあたった。

イ) 会員加入の促進

会員募集などの情報を全戸配布の「社協だより」、「ホームページ」、「Facebook」及び「Twitter」に掲載した。

ウ) 協力会員学習会及び定例会の開催

かわごえ友愛センター現任協力会員に対し、資質向上のための学習会と、協力会員に事業の現況報告や活動上の注意を促すための定例会を動画にして配信を行った。

・1回 視聴者数：81人 実施媒体：YouTube 動画配信、DVD 貸出等

公開期間	内容	視聴者
3月～4月	・片付け講座 ・定例会（業務連絡、事故注意喚起等）	81

エ) 友愛センター会員状況

・会員登録状況

会員別	登録者数	前年比
利用会員	298	+58
協力会員	160	+29
賛助会員	65	-27
計	523	+60

・派遣状況

項目	活動状況
実利用人員（人）	177
派遣日数（日）	325
派遣時間（時間）	6,762
実派遣人員（人）	89
派遣回数（回）	4,336

・利用状況及び利用者数

利用会員内訳	登録数	実利用者数	利用会員内訳	登録数	実利用者数
一人暮らしの高齢者	125	73	知的障害児・者	2	1
高齢の夫婦世帯	60	38	精神障害児・者	2	2
高齢者を含む世帯	58	36	精神疾患（手帳なし）	2	1
認知症	1	0	病気・けが等の事由	6	3
身体障害児・者	28	15	妊産婦・児童	14	8
			合計	298	177

イ 福祉車両、短期車椅子等貸出事業

(ア) 福祉車両貸出事業

日常車椅子を使用している方や外出の際に車椅子を必要とする方に社会参加の交通手段として、福祉車両の貸出を行った。

- ・車両保有台数：スロープ式軽自動車1台（ダイハツタント）
- ・貸出件数：24件

(イ) 短期車椅子貸出事業

外出時に車椅子を必要とする高齢者や障害児(者)及び福祉団体等に車椅子の貸出を行った。

- ・車椅子保有台数：48台（大人用44台、子ども用4台）
- ・貸出台数：152台 個人152台、団体0台

ウ 総合福祉センターの管理、運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務及び自主事業を行った。

(ア) 施設の利用状況

- ・開館日数：298日
- ・利用者総数：24,519人（男11,936人 女12,583人）

⑦ 高齢者福祉センター事業

- ・利用人数：利用者数：19,069人（男9,353人 女9,716人）

貸室	人数	貸室	人数
プール	9,727	体育室	4,408
大広間	119	浴室	0
教養娯楽室	301	第1研修室	1,337
第2研修室	705	社会適応訓練室	2,472
調理実習室	0	創作室	0
機能回復訓練室	0		

④ 障害者福祉センター事業

・利用人数：5,164人（男2,467人 女2,697人）

貸室	人数	貸室	人数
プール	1,374	体育室	2,037
大広間	34	浴室	0
教養娯楽室	32	第1研修室	170
第2研修室	362	社会適応訓練室	1,042
調理実習室	0	創作室	0
おもちゃライブラリー	74	点訳室	39
日常生活訓練室	0	機能回復訓練室	0

⑤ その他の事業（視察、相談）

・利用者数：286人（男116人 女170人）

一般利用

・プール一般利用（コ中止）

利用者数：0人（男0人 女0人）

・体育室一般利用（コ中止）

利用者数：0人（男0人 女0人）

⑥ サークルの活動状況

・団体数：60 団体

・活動回数：597 回

・利用人数：延べ6,056 人

・種目：囲碁、将棋、川柳、写真、水墨画、書道、太極拳、健康体操、社交ダンス、卓球、ボッチャ、サウンドテーブルテニス等

(イ) 高齢者福祉センター事業、障害者福祉センター事業の実施

⑦ 講座の開催

高齢者及び障害者を対象に各種講座を開催し、38講座（うち1講座は中止）に延べ2,268人が参加した。

・対象者：60歳以上の高齢者

目的	講座名	講座数	延べ参加者
自立支援		0	0
生きがいづくり		0	0

健康の維持増進	気功太極拳、3B体操等	5	811
重複等するもの		0	0
合 計		5	811

・対象者：障害者（身体障害者、知的障害者、精神障害者）

目 的	講 座 名	講座数	延べ参加者
自立支援	青年学級Ⅰ・Ⅱ、パソコンで年賀状を作ろう等	3	168
生きがいづくり	わくわく工作	1	30
健康の維持増進	ヨガ、ボッチャ等	7	405
重複等するもの	体育室開放	1	37
合 計		12	640

・対象者：高齢者及び障害者同時対象

目 的	講 座 名	講座数	延べ参加者
自立支援	これで安心！終活のすすめ、折り紙等	5	151
生きがいづくり	絵手紙、オアシス川越学等	12	598
健康の維持増進	自分を癒すケア、認知症予防クッキング等	2	43
重複等するもの	オアシス失語症言語訓練会	1	25
合 計		20	817

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模縮小した事業

対 象	講 座 名	概 要
障害者	青年学級Ⅰ	全6回中1回中止
	青年学級Ⅱ	全6回中1回中止
	体育室開放	全10日程中7日程中止
	STT	全6回中1回中止

・応募数が少なかったため中止となった事業

対 象	講 座 名	中止講座数
高齢者		0
障害者	パソコン年賀状	1
高齢者及び障害者		0
合 計		1

① 心身障害児（者）緊急一時保護事業（コ中止）

対象者：保護者又は家族の冠婚葬祭等により、緊急に保護を必要とする心身障害児（者）

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受入れできず

- ⑭ おもちゃライブラリー（コ縮小）
対象者：就学前の障害児と保護者
利用者数：延べ74人（障害者28人 保護者46人）
開館日数：36日

⑮ 相談事業

身体の悩みを抱えているが、病院に行くことを迷っている方や病院では聞きにくいという方などを対象に、医師による健康相談を毎月1回行った。また、看護師による健康相談と理学療法士によるリハビリ相談は、随時受付けて行った。

・医師相談

内容：医師による相談

利用者数：延べ31人（男17人 女14人）

・健康相談

内容：看護師による相談

利用者数：延べ130人（男66人 女64人）

・リハビリ相談

内容：理学療法士によるリハビリに関する相談、運動メニューの紹介

利用者数：延べ125人（男33人 女92人）

(ウ) 自主事業の実施

⑯ 一般対象向け講座（インターネット講座）の開催

自宅で準備できる材料を使った創作活動や軽運動等の講座を、一般の方も参加できるように開催し、10講座に延べ172人が参加した。

⑰ 血圧測定会（コ中止）

月に1回、看護師が利用者に対して血圧測定を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

⑱ 爪切り事業

自身で爪切りが困難な方を対象に、看護師が爪切りをすることで爪のケアなどの指導を行い、利用者サービスの向上を図った

・利用者数：延べ62人（男32人 女30人）

⑲ リハトレパーク

リハビリテーションを行う場がないものを対象にトレーニング等を行う場を提供することで、健康の維持増進や積極的な社会参加の促進を図った。

・利用者数：延べ337人（男233人 女104人）

(エ) その他

⑳ ボランティアの活動状況

・プールでの障害者支援 人数：延べ2人

・高齢者のスポーツ支援 人数：延べ102人

・障害者のスポーツ支援 人数：延べ12人

① 視察等の受け入れ

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため受け入れできず

② 協賛事業等（コ中止）

③ 川越市敬老マッサージ

④ 川越市クールシェアスポット

⑤ 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置等

緊急事態宣言やまん延防止措置等が発令された期間は一部で利用制限を設けて開館した。

エ 老人福祉センター西後楽会館の管理、運営

指定管理者として指定を受け、次の管理運営業務を行った。

(ア) 利用状況

開館日数		295 日
利用者総数		7,156 人
内	男 性	5,095 人
	女 性	2,061 人
訳	個 人	7,156 人
	団 体	(0 団体)0 人
訳	市 内	7,156 人
	市 外	0 人
健康相談		353 人
送迎バス		(0 台) 0 人
内 訳	老人クラブ等団体	(0 台) 0 人
	地区巡回	(0 台) 0 人

(イ) 事業及び行事等の実施

相談事業	医師による健康相談	12 回 延べ 16 人
	看護師による健康相談	87 回 延べ 337 人
	心配ごと相談員による生活相談	12 回 延べ 13 人
川越市民の日	施設無料開放 12 月 1 日（水）・5 日（日）	
その他協賛事業等	交通安全運動広報（館内放送）	

(ウ) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した事業

団体受入れ	
定期事業	将棋大会、囲碁大会、バンパー大会
季節行事等	七夕飾り付け、節分豆まき

敬老の日	特別事業
世代間交流	

(エ) **新型コロナウイルス感染症拡大防止のための措置等**

期間：令和3年4月1日（木）から6月30日（水）まで風呂中止
 大広間（人数制限）、囲碁・将棋（人数制限）のみ
 令和3年7月1日（木）風呂を再開（人数制限）
 令和3年12月8日（水）カラオケを再開
 令和4年1月21日（金）カラオケ中止
 令和4年3月8日（水）カラオケを再開

オ **地域密着型通所介護事業の実施**

介護保険の要介護認定で要介護状態及び要支援状態に認定された高齢者等に対して、その有する能力に応じて自立した日常生活ができるよう、機能訓練、日常生活上の世話、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

・利用状況：実利用者数：51人 延べ利用者数：2,366人

	介護予防・日常生活総合事業通所型サービス			地域密着型通所介護事業					合計
	事業対象者	要支援		要介護					
		1	2	1	2	3	4	5	
延べ利用者数	81	118	71	826	721	531	18	0	2,366

カ **地域活動支援センター事業の実施**

日常生活を営むのに支障がある障害者等に対して、機能訓練、社会適応訓練、更生相談、介護方法の指導、創作的活動、入浴サービス、給食及び送迎等のサービスを提供した。

・利用状況：実利用者数：62人、延べ利用者数：2,812人

	1級	2級	3級	4級	知的	精神	医療	合計
延べ利用者数	1,233	818	319	95	177	126	44	2,812

※身体障害者手帳のほかに手帳を所持している利用者については、身体障害者手帳の等級で集計。

キ **生きがい活動支援通所事業の実施**

介護保険の要介護者及び要支援者に該当しない65歳以上の在宅の高齢者のうち、家に閉じこもりがちな方を対象に、週1回の施設通所により、創作活動、趣味活動などの生きがい活動を支援するためのサービスを提供した。

・利用状況

実利用者数：40人 延べ利用者数：1,483人

- ・研修会の実施及び参加　　《※P35(1)①参照》
職員の資質の向上を図るため、他機関が実施する研修会に参加した。

② 相談体制の整備

心配ごと相談所事業の推進

住民の生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言・援助を行うために民生委員相当の経験を有する相談員との連携による心配ごと相談所事業を実施した。

相談内容	件数	相談内容	件数	相談内容	件数
生計	7	健康、保健、衛生	27	障害者(児)福祉	4
年金	1	医療	2	母子福祉・父子福祉	0
職業、生業	15	人権・法律	2	高齢者福祉	2
住宅	1	財産	2	苦情	0
家族	6	事故	0	その他	8
結婚	1	児童福祉・母子保健	0	合計	78
離婚	0	教育・青少年	0	実相談者数 48 人	

③ 自立した生活のための支援

ア 多問題を抱える要支援者の自立支援

地域福祉サポートシステム構築に向け、市内全域にコミュニティソーシャルワーカーを配置し、市民の福祉課題の解決に向けた相談支援や地域福祉活動のしくみづくりを行った。

また、民生委員や地域住民からの要援護者に関する対応についての相談に応じ、適切な関係機関への取り次ぎ、多問題を抱えるケース支援として、地域包括支援センター、民生委員等と協力し、住居環境の改善や住居確保等の相談に応じるなどの支援をした。

また、生活を安定させるための制度（生活保護、川越市自立相談支援センター、彩の国あんしんセーフティネット事業等）の利用を援助するなどの支援を行った。

イ 生活支援関係事業（生活福祉資金、福祉資金、安定資金等）

(ア) 各種資金の貸付事業(生活福祉資金、小口資金)の適正な実施

㊦ 生活福祉資金等の貸付【県社協受託事業】

低所得世帯に対する貸付制度の申請等の事務を行った。

資金種別	決定件数	金額（円）
生活福祉資金（特例貸付除く）	12	20,377,000

㊧ 特例貸付【県社協受託事業】

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業で、生活資金に困窮する世帯に対する特例貸付制度の申請等の事務を行った。

資金種別	決定件数	金額（円）
緊急小口資金	1,223	239,804,000
総合支援資金	3,255	1,806,870,000
合計	4,478	2,046,674,000

※総合支援資金は、延長及び再貸付の決定数を含む。

㊦ 小口資金の貸付

低所得世帯等の生活の安定を図るため、次の貸付を行った。

資金種別	1月発送(件)	住所調査(件)
福祉資金	0	0
安定資金	334	7,575,000
合計	334	7,575,000

㊧ 滞納者に対する督促状発送

資金種別	1月発送(件)	住所調査(件)
福祉資金	21	5
安定資金	204	38
合計	225	43

㊨ 欠損処分の実施

資金種別	件数	金額（円）
福祉資金	1	35,000
安定資金	2	35,000
合計	3	70,000

(イ) 歳末たすけあい援護事業の実施

㊩ 歳末たすけあい援護金配分委員会の開催

㊪ 要援護世帯等への慰問事業の実施

在宅の要援護世帯、市内民間福祉施設へ援護金を贈り激励した。

種別		基準額 (円)	対象者数 (人)	配分額 (円)
要援護 世帯	低所得世帯	10,000 +世帯人数加算 +証明書類手数料	91	1,031,800
	重度要介護高齢者	2,000	112	224,000
	重度障害児者	2,000	2,703	5,406,000
市内民間福祉施設		20,000	46施設	920,000
合計			2,952	7,581,800

ウ 法人後見事業

個人で受任するのが難しく、他に適切な候補者がいないと判断された人の法人後見を行い、安心して暮らしていくための支援をした。

(ア) 法人としての後見等受任

社会福祉法人川越市社会福祉協議会法人後見事業実施要綱に基づき、法人として後見等受任や監督を行った。

・推薦依頼件数

推薦経緯	件数
市高齢者いきがい課	2
市障害者福祉課	0
その他	1
合計	3

・受任件数

類型	件数	高齢者（生保）	障害者（生保）
後見類型	16	6(2)	10(4)
保佐類型	6	4(2)	2(2)
保佐監督	1	0(0)	1(0)
合計	23	10(4)	13(6)

(イ) 市民後見人に関すること

- ・市民後見人養成講座を修了した法人後見支援員の活動を支援した。
- ・市民後見人による後見活動にふさわしい受任案件の引継ぎ及び活動を支援した。
- ・家庭裁判所の求めによる後見等監督を実施した。

(ウ) その他、法人後見の推進に関すること

- ⑦ 法人後見事業協議会を開催（コ縮小）
 - ・開催回数：2回
 - ・場所：Zoom オンライン会議、ウェスタ川越会議室
 - ・専門部会の開催：2回
- ⑧ 成年後見に関する研修等に参加
 - ・場所：Zoom オンライン研修
 - ・参加回数：10回

エ 成年後見制度推進事業

権利擁護が必要な人を早期に発見・支援するため、中核機関を受託し、広報、相談、成年後見制度利用促進、後見人等支援といった各機能を順次、整備・拡充した。

(ア) 広報、普及啓発

- ⑦ リーフレットの配布
 - ・配布回数：6回
 - ・配布枚数：497枚

- ① 市民や福祉関係事業所等に向けた研修会、講演会の開催
 - ・ 出前講座開催回数：6回
 - ・ 延べ参加者数：145人

(イ) 相談対応及び成年後見制度の利用支援

- ⑦ 社協職員が制度利用に関する相談
 - ・ 延べ相談件数：363件
- ⑧ 法律の専門家が応じる定期的な成年後見相談所の開催
 - ・ 開催回数：24回
 - ・ 相談件数：45件
- ⑨ 各分野の職能団体の紹介など、個々の事情に応じた支援
- ⑩ 日常生活自立支援等の関連事業からのスムーズな移行支援

(ウ) 後見制度の担い手育成

市民後見人等地域の担い手育成を目的とした研修等を実施した。

- ⑦ 成年後見入門講座の開催（コ縮小）
 - ・ 開催回数：7回
 - ・ 延べ参加者数：94人
- ※年11回の開催予定としたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、一部中止した。
- ⑧ 市民後見人養成講座修了者向けフォローアップ研修の開催（コ縮小）
 - ・ 開催回数：1回
 - ・ 場所：Zoom オンライン研修
 - ・ 参加人数：4人
- ⑨ 市民後見人養成講座修了者への福祉関係の情報提供
 - ・ 提供回数：12回
 - ・ 延べ提供者数：468人

(エ) 中核機関運営協議会の設置

中核機関運営協議会の設置運営にかかる庶務（コ縮小）

- ・ 運営協議会の開催回数：2回
- ・ 場所：Zoom オンライン会議、ウェスタ川越会議室

(オ) その他成年後見制度の利用支援に関し必要な事項

協議会の設置、受任者調整、後見人等に対するチーム支援、地域連携ネットワーク構築等に向けた基盤づくり

- ・ 市、自治会、他機関、多職種等との打ち合わせなど：11回

オ 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）

県社協から福祉サービス利用援助事業の委託を受け、高齢者、知的障害者、精神障害者等で判断能力が十分でない方へ、福祉サービス利用の手続きや日常生活に必要な金銭管理等の支援を行った。

(ア) 支援

・問合せ、相談 (単位:件)

対象区分	高齢者	知的障害者	精神障害者	不明その他	合計
問合せ	46	7	15	8	76
相談	21	3	3	0	27
合計	67	10	18	8	103

・延べ契約者数、契約廃止者数、年度末契約者数 (単位:件)

対象者	前年度(継続)	新規	解約	年度末契約数
高齢者等	12	8	8	12
知的障害者	14	2	3	13
精神障害者	23	4	9	18
その他	3	0	0	3
合計	52	14	20	46

(イ) 研修

専門員、生活支援員の資質の向上を目的に研修を行った。

・市社協主催支援員研修会

開催日	場所	内容
7月16日	総合福祉センター	利用者の情報取扱い及び情報交換

・全社協主催 専門実践力強化研修会

8月27日 配信 対人援助の基礎知識・意思決定支援の考え方ほか

・県社協専門員基礎研修

6月11日 オンライン 専門員業務の進め方

・県社協主催専門員専門研修会

2月24日 オンライン 成年後見制度への移行

・県社協地域権利擁護推進会議(第3ブロック)研修会

7月12日 オンライン 事例検討及び情報交換

・県社協専門員会議

2月24日 オンライン 年度末の事務手続き・リスクマネジメント

カ 障害者虐待防止対策支援事業

障害者虐待に関する届出の受理、障害者及び養護者に対して、相談及び助言、障害者虐待防止及び養護者に対する支援を行うとともに広報啓発活動を行った。

(ア) 相談・通報対応件数(実数)

- ・障害者虐待が疑われる通報 10件
- ・障害者虐待が疑われない通報 23件
- ・その他の通報 40件
- ・合計通報件数 73件

(イ) 障害者虐待防止出張講座の実施(コ中止)

(ウ) 障害者虐待防止センター周知啓発の実施

- ・事業説明の実施：1回、17人

キ 生活管理指導員等派遣事業

介護保険の要介護者及び要支援者に該当しない65歳以上の在宅の高齢者に対して、要介護状態への進行予防を図るため、日常生活に対する指導と家事援助等のサービスを提供した。

- ・利用状況 実利用者数：30人 延べ利用者数：1,008人
- ・サービス提供時間数 延べ1,009時間
- 内訳：生活管理指導員232時間 生活援助員777時間

ク 川越市ファミリー・サポート・センター事業

会員相互による育児の援助活動を促進することにより、仕事と育児を両立できる環境の整備を行うとともに、地域における子育て支援を図り、児童及び勤労者等の福祉の増進を図った。

(ア) 会員加入の促進

入会説明会の実施 随時

(イ) 援助活動の充実

- ・提供会員講習会の開催（コ縮小）
動画配信：1回
受講者数：12人
登録者数：0人（未受講項目の受講修了後に登録の予定）
- ・子育て支援交流会の開催（コ中止）

(ウ) 新型コロナウイルス感染予防への対応

コロナ禍における会員等の来訪に対して、飛沫感染防止パネル、非接触式検知器等の備品設置の継続

(エ) 会員の登録状況

会員別	登録者数	前年比
提供会員	466	△30
依頼会員	1,252	△104
両方会員	35	△19
合計	1,753	△153

(オ) 援助活動の状況

派遣回数：5,534回 派遣時間：4,468時間22分

(カ) 援助活動内容

援助活動内容	回数
保育所、幼稚園の登園前の預かり	6
保育所、幼稚園の送り	151
保育所、幼稚園の迎え	535
保育所、幼稚園の帰宅後の預かり	410
学童の放課後の預かり	13
放課後児童クラブ終了後の迎え	1,192
放課後児童クラブ終了後の預かり	481
子どもの習い事等の場合の援助	1,516
保育所、学校等休み時の援助	37
保育所等施設入所前の援助	0
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	115
保護者等の求職活動中の援助	0
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	24
保護者等の買い物等外出の場合の援助	22
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	6
他施設への送り	402
学童の留守宅送り	199
学童の朝の送り	248
在宅保育の援助	177
合 計	5,534

ケ 盲人ガイドヘルパー派遣事業

重度視覚障害者に盲人ガイドヘルパーを派遣し、社会生活を営む上での外出援助を行い、社会活動の拡大を図った。

・登録状況

種 別	登録者数	前年比
盲人ガイドヘルパー	44	△1
利用者	62	△9
合 計	106	△10

・派遣実績

派遣件数：715件 派遣時間数：1,515時間

(2) もしものときに備える

(生活支援課)

① 防災活動の推進

ア 災害時に関する協定の締結

災害発生時、災害ボランティアセンターの運営体制等を整え、迅速に復興支援活動に繋げるため、行政、企業と協定を締結した。

(ア) 川越市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定の締結

- ・締結先 川越市
- ・内 容 復興支援活動に必要な資機材の調達、センター内での業務の連携等
- ・締結日 令和4年2月17日

(イ) 災害時等における協力体制に関する協定の締結

- ・締結先 (株)小江戸FM
- ・内 容 災害発生時状況や支援に係わる情報発信等
- ・締結日 令和4年2月17日

イ 入間ブロック内社協災害ボランティアセンター担当者の情報交換

近隣市町村社協で災害発生時における、災害ボランティアセンターの運営や復興に向けた生活支援等での広域連携を図るため、情報交換、研修を行った。

内容	実施日	参加社協	参加人数
座談会	令和3年6月17日	17社協	20名
基礎研修	令和3年8月31日	18社協	78名

ウ 災害ボランティアセンター運営のための備品等の整備

災害時において円滑に災害ボランティア活動ができるように、備品を整備した。

【スタッフ50名及びボランティア400名分を想定】

ヘルメット、防じんマスク、ゴーグル、ボランティア用ベスト、トランシーバー、一輪車など 約2,000点

② 要支援者への配慮

民生委員児童委員の活動や地区社協の緊急連絡カード事業で把握した要援護者を支援するため、福祉マップ作成のための地図を提供するなどその体制づくりを支援した。

4 地域福祉を推進するための社協基盤の強化

第五次地域福祉活動計画（みんなで作る福祉のまち川越プラン）に掲げる事業を着実に推進するため、事務局組織体制の強化や効率的な財政運営等を行います。また、市民の皆様からご協力いただいた、社協会費、寄付金、共同募金配分金等の貴重な財源の効果的な活用に努めます。

(1) 職員力の向上（総務課、地域福祉課、生活支援課、総合福祉センター）

① 総合的な研修体系の検討

県社協等が開催する研修について、受講の必要性を検討し、職員に階層別研修や専門的研修を受講させ、職員の資質向上に努めた。

ア 外部研修等

・ 県外研修

名	称	参加者
いきがい・助け合いサミット	in 神奈川	1
国際福祉機器展		2

・ 県内研修

名	称	参加者
令和3年度	管理者キャリアパス研修	1
埼玉県生活支援コーディネーター	基礎研修	1
中堅職員	キャリアパス研修	2
ヤングケアラー	フォーラム	1
第14回全国校区小地域福祉活動	サミット	1
ミニ門松	づくり	1
安全運転	管理者研修	2
社会資源	入門研修	1

イ オンライン研修

名	称
接遇	研修
初任者のための	文書作成・報告のしかた研修
クレーム	対応研修
財務	管理者研修
リスク	マネジメント研修
社会福祉士	実習指導者フォローアップ研修
新任職員	フォローアップ研修
福祉現場で必要な	法律の基礎知識研修（高齢者）
福祉現場で必要な	法律の基礎知識研修（障害者）
財務	管理者研修マスターズB日程

人事管理者研修
財務管理者研修マスターズC日程
JVOAD 第5回災害時の連携を考える全国フォーラム
令和3年度ボランティアコーディネーター新任研修
「今さら聞けないボランティアグループ支援の基礎知識～ボランティアの高齢化からコロナ禍での支援まで～」
第35回埼玉県ボランティアコーディネーター連絡会
「第46期ボランティア養成講座 新任ボランティアコーディネーター基礎研修」
「コロナ禍での実践したボランティアのリコグニション～ボランティアのモチベーション低下にどう向き合うか」
オール社協で創る！地域共生社会の実現～地域福祉推進プラットフォームキックオフセミナー～
令和3年度彩の国ボランティア体験プログラム事業担当者会議
令和3年度市町村社協連絡会 インターネット活用研修
「シンポジウム『これからボランティア・市民活動～コロナ後の新たな展開～』」
令和3年度ボランティアコーディネーター現任研修
「コロナ禍での進化するプログラム開発とリクルート～新たな活動の領域を開拓するコーディネーションの実践とは～」
令和3年度埼玉県ボランティアコーディネーター連絡会
第1回“地域福祉推進プラットフォーム”「福祉教育についてみんなで考えよう！～福祉教育こそオール社協で～」
第2回“地域福祉推進プラットフォーム”「現任教師から学ぶ福祉教育実践プログラムの基本！～社協と学校がわかりあえるために～」
第3回“地域福祉推進プラットフォーム”「コロナ禍で見えた多文化共生～国籍を超えて支え合える地域づくりに向けた身近な取り組み～」
感染症予防
高次脳機能障害
福祉用具の有効活用
障害者スポーツ

(※他事業の研修会と一部再掲あり)

ウ 職員研修

名	称
介護報酬改定に関する研修	
ドライバー研修	
介助研修	
リハビリに関する研修	

食中毒予防について
熱中症対策について
腰痛及び転倒予防について
認知症予防について
災害への備えについて
日誌の記録について
倫理・法令遵守について

エ 情報の共有化

(ア) 埼玉県市町村社協連絡会入間第3ブロック連絡会への参加

- ・開催日：令和3年11月26日
- ・会場：狭山市社会福祉会館
- ・内容：「働き方改革推進のポイント～withコロナ～」の研修会に参加し、働き方改革推進のポイントを学ぶとともに、近隣社協間における担当職員同士の交流を図った。
- ・参加者：3人

(イ) 第57回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、基調講演についてはオンデマンド配信による事前視聴とし、全体会及び分科会についてはZoomミーティングとなった。
- ・実施日：令和3年7月8日(木)
- ・内 容：基調講演
「再確認。社協の使命とは～未来（これから）を創る社協職員を考える～」
ルーテル学院大学 名誉教授 和田 敏明氏
：分科会
- ・参加者：7人

(ウ) 労務管理機能(衛生委員会の開催、産業医の巡視及び健康相談)の強化

- ・衛生委員会の開催
- ・産業医の巡視（月1回）及び健康相談の実施

(2) 広報活動の強化

（総務課、地域福祉課、生活支援課、権利擁護センター、総合福祉センター）

① 広報誌による情報

ア 社協だよりの発行

- ・計6回 総部数 995,468部

号数	発行日	号数	発行日
233号	6月1日	236号	12月1日
234号	8月1日	237号	2月1日
235号	10月1日	238号	4月1日

イ 声の社協だより

ボランティアグループ「オアシス音訳サークル」の協力により、毎月号デジ書CDを作成し利用者に配布した。新型コロナウイルス感染症の影響で、緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用された際は、音訳活動の休止があったので、本会職員が専用ソフトを使用し対応した。

② 各事業の福祉情報

ア 地区社協

地区社協だよりの発行促進のため、地区社協で発行している地区社協だよりを他地区にも配布し、情報提供を行った。

イ ボランティア

(ア) 各ビューローの情報紙発行

ボランティア室1回、ビューロー西1回、ビューロー保健センター1回

(イ) ボランティア活動希望者

ボランティア活動者に対し、ボランティア情報誌、パンフレット等で情報提供を行った。

(ウ) LINE 公式アカウント

ボランティアセンターのLINE公式アカウントを取得し、周知を行った。(登録者数71人)

ウ ファミリー・サポート・センター

啓発用チラシ・リーフレットを各関係機関等に配布した。

- ・関係団体、機関等への周知（学童保育室、家庭保育室、保育園、幼稚園へリーフレット配布） 173か所
- ・会報誌の発行 1回（7月）
- ・ユーチューブ（YouTube）の配信

事業の宣伝効果を狙うとともに、会員以外の子育て世帯に対しての育児支援を目的として配信を行った。(手づくりおもちゃ動画5本)

エ 川越市総合福祉センターオアシス

(ア) 総合福祉センターだよりの発行

総合福祉センターだよりを毎月発行し、公民館、文化会館、障害者施設等へ配布し、情報の発信に努めた。

- ・発行：第313号から第324号まで（全12回）、毎月1回500部

(イ) ユーチューブ（YouTube）の配信

緊急事態宣言により外出の自粛が要請され、自宅にこもりがちとなった高齢者や児童を対象に動画配信を行った。

- ・壁面作成動画 9本

- ・広報動画 6 本
- ・オアシス パネルシアター 1 本

オ 西後楽会館

西後楽会館だよりを発行し、利用者に対し情報提供に努めた。

- ・発行：年 1 回、各 50 部配布

③ ホームページ等による福祉情報の提供<再掲 P1-(1)①イ参照>

- ア 社会福祉協議会ホームページ
- イ 総合福祉センターホームページ
- ウ SNS

(3) 財源の確保 (総務課、地域福祉課)

① 社協会員加入の促進

社協会員募集については、普通会员 1 口 300 円、特別会員 1 口 1,000 円、賛助会員 1 口 5,000 円以上でお願いし、加入促進に努めた。

区 分	令和 3 年度		参考 (令和 2 年度)	
	加入世帯数等	会費収入(円)	加入世帯数等	会費収入(円)
普通会員	45,647 世帯	15,431,202	47,248 世帯	15,822,824
特別会員	1,672 人	1,792,600	1,850 人	2,020,600
賛助会員	256 件	1,458,000	258 件	1,438,000
合 計		18,681,802		19,281,424

② 自主財源確保に向けた調査研究

ア 共同募金の促進

埼玉県共同募金会から令和 3 年度配分金として 25,487,000 円 (一般募金配分金 9,655,000 円、歳末募金配分金 15,832,000 円) の配分を受けた。

イ 一般寄付金の受入れ

59 件 12,283,952 円

(4) 事業運営体制の強化 (総務課、地域福祉課)

① 法人運営の強化

ア 役員会等の充実

(ア) トップセミナー等の研修会の実施 (コ中止)

理事・監事・評議員を対象に研修会を行っているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止とした。

(イ) 役員会等の開催

理事会、評議員会等の開催

・理事会

(開催回数 5 回)

開催日	出席者数	議 題 等
6 月 3 日	理事 11 監事 2	【議案】 議案第 1 号 令和 2 年度計算書類等について 議案第 2 号 令和 2 年度事業報告について 議案第 3 号 令和 3 年度第 1 回社会福祉法人 川越市社会福祉協議会評議員会 の招集について 議案第 4 号 社会福祉法人川越市社会福祉協 議会評議員選任・解任委員会の招 集及び評議員候補者の提案につい て
6 月 23 日	理事 11 監事 1	【議案】 議案第 5 号 社会福祉法人川越市社会福祉協 議会理事長の選任について 議案第 6 号 社会福祉法人川越市社会福祉協 議会副理事長の選任について 議案第 7 号 社会福祉法人川越市社会福祉協 議会理事会部会員の選任について 議案第 8 号 令和 3 年度川越市社会福祉大会 運営委員会委員の選任について 議案第 9 号 川越市社会福祉協議会福祉基金 運営委員会委員の選任について 議案第 10 号 在宅福祉サービスセンター運 営委員会委員の選任について 議案第 11 号 社会福祉法人川越市社会福祉 協議会小口資金貸付事業運営委 員会委員の選任について 議案第 12 号 社会福祉法人川越市社会福祉 協議会評議員選任・解任委員会 委員の選任について
9 月 13 日 (決議日)	同意数 理事 14 監事 2	【議案】 議案第 13 号 令和 3 年度資金収支補正予算 について 議案第 14 号 令和 3 年度第 2 回社会福祉法 人川越市社会福祉協議会評議員 会の決議の省略について

12月3日	理事 11 監事 1	【議案】 議案第15号 令和3年度資金収支補正予算について 議案第16号 生きがい活動支援通所事業の終了について 議案第17号 役員等賠償責任保険の加入について 議案第18号 令和3年度第3回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の招集について 議案第19号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集及び評議員候補者の提案について
3月18日	理事 12 監事 2	【議案】 議案第20号 令和3年度資金収支補正予算について 議案第21号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款を定めることについて 議案第22号 令和4年度事業計画について 議案第23号 令和4年度資金収支予算について 議案第24号 令和3年度第4回社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員会の招集について

・評議員会

(開催回数4回)

開催日	出席者数	議 題 等
6月18日	評議員 30 監事 1	【議案】 議案第1号 令和2年度計算書類等について 議案第2号 令和2年度事業報告について 議案第3号 令和3年度川越市社会福祉大会運営委員会委員の選任について 議案第4号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会役員を選任について
10月1日 (決議日)	同意数 評議員 40	【議案】 議案第5号 令和3年度資金収支補正予算について

12月17日	評議員 27	【議案】 議案第6号 令和3年度資金収支補正予算について 議案第7号 生きがい活動支援通所事業の終了について 議案第8号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会役員の選任について
3月30日	評議員 29	【議案】 議案第9号 令和3年度資金収支補正予算について 議案第10号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会定款の一部を改正する定款を定めることについて 議案第11号 令和4年度事業計画について 議案第12号 令和4年度資金収支予算について

・評議員選任・解任委員会 (開催回数 2回)

開催日	出席者数	議 題 等
6月10日	委員 3	【議案】 議案第1号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員の選任について(選任日から令和3年度定時評議員会の終結の時まで) 議案第2号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員の選任について(令和3年度定時評議員会終結後から令和7年度定時評議員会の終結の時まで)
12月10日	委員 3	【議案】 議案第3号 社会福祉法人川越市社会福祉協議会評議員の選任について

・監事による監査 (開催回数 1回)

開催日	出席者数	監 査 事 項
5月26日	監事 2	令和2年度事業報告及び会計監査

・企画財政部会 (開催回数 1回)

開催日	出席者数	議 題 等
11月17日	委員 6	(1) 生きがい活動支援通所事業の終了について (2) 今後の地域密着型通所介護事業について

イ 事業継続計画（BCP）及び「勤務時間以外に災害が発生した場合の
参集基準」マニュアルの策定

通常の業務執行が困難となるような大規模災害や感染症等の流行時においても、重要な業務を中断させず又は必要なレベルで継続し、早急に復旧することができるようBCPを策定した。また、災害発生時の初動対応を速やかに開始するために、参集基準マニュアルを策定した。

ウ 諸規程等の整備

- ・ 制定 7 件
- ・ 一部改正 11 件

② 地域福祉活動計画の推進

ア 川越市地域福祉活動計画との連携

第五次川越市地域福祉活動計画と第四次川越市地域福祉計画を一体化し、計画名称「みんなでつくる福祉のまち川越プラン」として策定

イ 川越市社会福祉協議会地域福祉活動推進委員会の開催

開催日	出席者	内 容
第 1 回（2 月 2 日） 書面会議	13 人	・ 地域福祉専門分科会の会長・副会長の選任について ・ 川越市における重層的支援体制整備事業の概要について

5 その他

(1) 実施事業

（総務課、地域福祉課）

戦没者追悼事業の実施

ア 春季戦没者追悼式（コ縮小）

令和 3 年 4 月 12 日に予定していた春季戦没者追悼式は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小し実施した。

イ 秋季戦没者追悼式

(ア) 本庁管内地区戦没者追悼式（コ中止）

(イ) 出張所管内地区戦没者追悼式

- ・ 開催日：令和 3 年 9 月～11 月の間
- ・ 会場：地区毎に規模の縮小等をして実施

(2) その他の事業 (総務課、地域福祉課、生活支援課)

① 埼玉県共同募金会川越市支会の運営

埼玉県共同募金会川越市支会事務局業務の実施

② 社会を明るくする運動への協力

社会を明るくする運動キャンペーンに協力し、青少年の健全育成を推進した。

③ 実習生の受入れ

社会福祉士養成 相談援助実習

- ・東京国際大学 2人
- ・日本社会事業大学 1人
- ・東洋大学 1人
- ・立正大学 1人

④ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会終了後のボランティアの受け入れ体制の整備

埼玉県で活動した都市ボランティアに向けた大会終了後のサンクスセレモニーで川越市社協を周知し、ボランティア活動の相談受付の体制を整備した。

(3) 福祉団体事務局 (地域福祉課、生活支援課)

各団体の事務局運営

- ・川越市民生委員児童委員協議会連合会
- ・川越市障害者団体連絡協議会
- ・川越市身体障害者福祉会連合会
- ・川越市老人クラブ連合会
- ・川越市遺族会
- ・川越市在宅介護者友の会
- ・川越市ボランティア連絡会